

クローズ
アップ
1

3つの注力領域に 人材・資金を集中

メガトレンドを踏まえたマーケットニーズや社会課題に対し、価値創造を図っていくというコンセプトのもと、中期経営計画2023における注力領域を設定しました。人材や資金といったリソースをこの3つの注力領域に集中し、成長に向けた**投資3,000億円**を実行していきます。

注力領域 > インフラ・ヘルスケア

投資想定額 **1,200 ~ 1,500** 億円

人口増や経済成長に伴うインフラ・エッセンシャルサービス需要の取り込み、社会環境の変化に伴う新しいインフラおよびその関連付随サービスの提供により**足元の着実な成長**を実現する

注力領域 > 成長市場×マーケットイン志向

投資想定額 **1,000 ~ 1,200** 億円

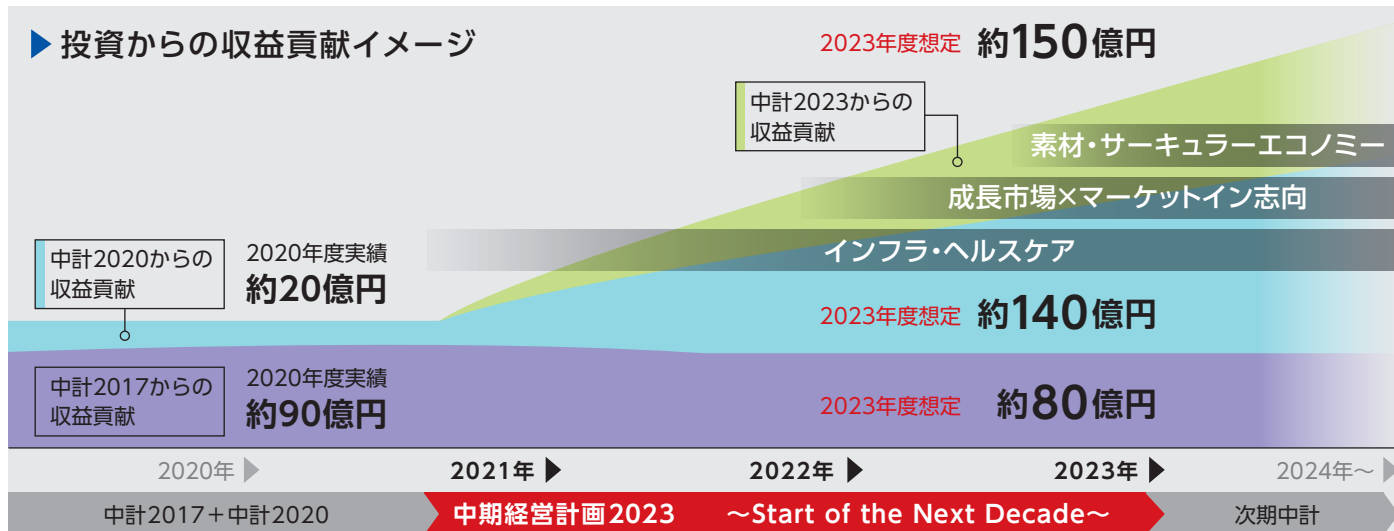
成長市場における川下領域の取り込み、成長の過程における嗜好の変化をとらえた市場の創造により、ベトナムをはじめとする東南アジアおよびインドなどの**成長市場とともに成長**していくことを狙う

注力領域 > 素材・サーキュラーエコノミー

投資想定額 **300 ~ 500** 億円

大量消費型からのニーズの変化、SDGsなど環境意識の高まりへの対応により、**従来型ビジネスからの変革**に取り組む

▶ 投資からの収益貢献イメージ



クローズ
アップ

2

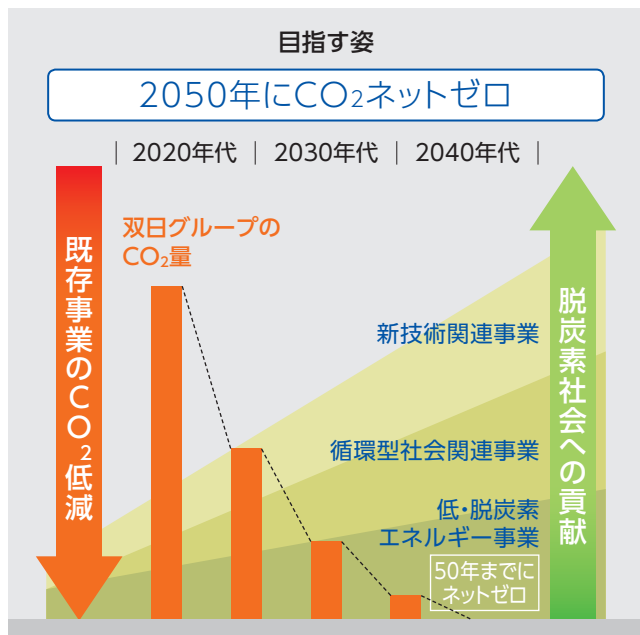
CO₂ ネットゼロ を目指す



当社のサステナビリティ経営は、企業理念、「2つの価値」（「双日が得る価値」と「社会が得る価値」）、マテリアリティ（サステナビリティ重要課題）を踏まえた取り組みを前提としています。

2050年に向けた長期ビジョンでは、脱炭素社会実現への挑戦と人権尊重を掲げていますが、脱炭素については、**2050年にCO₂ネットゼロ**を目指す計画を2021年3月に公表しました。

また、削減目標に着実に取り組むだけでなく、脱炭素社会への動向を機会としてとらえ、関連ビジネスを拡大していく考えです。



クローズ
アップ

3

多様性を競争力に



人材については「多様性を競争力に」をテーマとして各種取り組みを行っていきます。

多様性と自主性を備える「個」の集団を作り上げていくために、**事業経営できる力、発想・起業できる力、周囲を巻き込み・やりきる力**を持った人材の創出に取り組んでいきます。

社員個人のキャリアパスを支援しながら、個人の成長を、組織ひいては当社の原動力とし、新たな事業創出につなげていきます。

